京城新報

●新聞料 ▲一部二錢▲前一ケ月金廿五錢●三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月金拾參錢

●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢

●陰曆 十二月十八日

發行編輯兼印刷人 山下英[illegible]

京城西署西小門通 發行所 京城新報社 電話六六三

朝鮮兩班の日本旅行記（三）

李審房

長亭短亭を經過して夜、宮島驛を過ぐ、接伴官、慫慂して曰く、宮島に一泊如何、彼は其風景の壯麗を說いて止まず、朴侍從も長途の休靜を欲するもの〻如し、余は休靜を欲せざるに非ず、朴侍從が日本官吏と抱合して我意を迎ふるを好まず、余曰く王命是れ重し、死生哀樂は問ふ處に非ずと。我慢は遂に車中に忍耐す、使令來りて寢臺に橫臥するや否やを問ふ、日本人の干渉も亦甚だしからずや、余が眠ると睡らざるとは余の權利なり、況んや橫臥すると否とを使令輩の推問する處に非ず、余怫然として答へず、彼敬揖して去る。翌朝曉天神戶を過ぐ、大厦高樓櫛比し、港內滊船幾百艤留す、日本の富初めて想念す、神戶驛に到るや數十の觀迎者來りて我一行の健康を祝賀し、或は脫帽し、或は握手し或は雙手を上げ、或は萬歲を唱ふ、其嬉々として友愛の情を表はし、其得々として遠來の朋友を喜ぶの狀、曾て評して日本人は喜怒俱に激急なりと謂へる先人の言今尙ほ目擊す、神戶を發して大阪に向ふ途次韓局長曰く大監彼の神戶驛に於て我は珍客を見たり、閣下知るや否や、余知らず珍客とは果して誰ぞや、彼私語して告げて曰く、朴泳孝彼群集の間に在りたりと、余曰く珍客に非ずして國賊なり。

大阪に至れば群集の雜沓神戶に倍せり、歡迎の接伴煩にして言ふに忍びず、車中更らに數名の日本官吏來り加はる、名刺に曰く從四位勳三等大阪府知事と、彼は大都の府尹にして位僅かに從四位たり、一品官たる余を以て見れば固より下僚たるのみ、而かも其風采を見るに沈重寡言、顏貌和氣溫雅余に禮して曰く閣下の遠來に陪從して西京に抵らん、風光佳にして長途の[illegible]を懷ふさ恐らく彼は日本の兩班ならん。

國有未墾地利用の適用に就て

（當局者の注意を促す）

入交貞吉

國有未墾地は本法第一條に規定せる如く草生地干潟沼澤及原野荒蕪地等あり今日其の數に於て又面積に於ても一の依るべき根據なく茫漠として民衆一般の認識に委せ政府の許可をなすも實地を見て之を認定するものに過ぎざるか故法の嚴正適用は事情に徵して極めて困難なるのみならず尙ほ之を嚴正に適用するときは斯業の發展を障害すること尠なからざるが故に本法の適用の如きは局部の情況に重きを措かず其の請願地の大局を檢查し大體に於て國有未墾地と認知するものなるときは速かに許可を與ふるを以て運用の善しきを得たるものとす

現在本法の用法に付き二個の主義あり一は無條件主義と稱し一を條件主義と呼ぶ無條件主義は又嚴正なる適用派にして請願面地に對し嚴正なる調查を求め土人の慣習的特權面を除外し請願圖面等の訂正をなせしめて後日の紛擾を根底より剗除し置かんとする消極的許可主義にして條件主義は則ち請願面地に對し大なる虛僞錯誤なき時は之に許可を與へ土民の權利異議等の諸問題は後日裁判上に於て裁決せんとする許可に對する積極主義にして今兩者の利害得失を現狀に照らし考ふる時は勢ひ後者を以て實行の方針と定めざるべからざるのみならず後者の前者に勝らんことを認め得べし

凡そ韓國と雖ども到る處人家ありて未墾地と雖ども多少利用せざる處なし故に此れ等無條件主義より見れば韓國には殆んど未墾地なしと謂ふことを得可し草生地の如き殊に然りとす、土人は燃料に乏しきか故に草生地は强者の橫領取收地にあらざれば、村民共同の草刈場として殊に他村よりも立入ることを許さぬ慣例存在し日本に所謂入合地權の如きもの存在せり若し此等の權利を認め進で沼澤に於ける魚漁權或は原野の放牧權等に至る迄で慣習に習ひ私權の存在を認識して請願面地より除去するときは事業は獨立してなす能はざるのみならず韓國と雖も國有未墾地利用法の適用を見るなからんか故に未墾地許可の方法は大局に亘りて條件主義の如く公益問題を先決となし之を開墾すると否とは國益上に如何なる干係を有するかを詳察して土民の事實的損害は開墾業者に對し、不當利得の原則による裁判上の裁決賠償問題とするは當今未墾地利用の適用善しきを得たるものならんかと信ず

建築材料の革命

（セメント用途の擴大）

近來セメント應用の範圍年と共に擴大し建築材料として從來も廣く用ゐられたる鐵、網、木材、煉瓦等の諸材料は漸次セメント又はセメントにて作られたるコンクリートに依つて代用せらるゝの傾向あり此他道路、橋梁、塔頭及び各種裝飾品に至るまでセメントを用ゐられざるもの殆んど稀なる勢ひなるが是に昔話のカチ〳〵山をも思合さるゝはセメントを以て船舶を新造するもの多きに至れることとなり就中伊太利ローマのガアベリニー會社の如き最も熱心に研究を積み現に二百噸以上のコンクリート船を建造して實用に供しつゝあり▲而してコンクリート船の利益は如何なる土地にても隨意に建造することを得ると共に造船の日數極めて短く費用低廉にして船底水垢、貝殼、海藻の付着すること稀に縱し又付着したりとて船渠に入るゝの要なく航海中損所を生ずるも海上直にコンクリートを以て修覆し得べきを以て伊國海軍省の如きは此にて九十噸積の石炭船四隻を建造し尙行々艦船をも新造するの計畫ありと云ふ▲此の外橋梁、棧橋等に付ても米國の如きは棧橋の橋臺と橋臺との間幅六百尺の長きに及ぶまで一枚のコンクリートを使用せるものあり我國にても明年三月竣成の大阪櫻島波止場棧橋は橋抗は鋼鐵を用ゐるも橋上は悉く鐵筋コンクリートの厚さ五吋、船着長さ二百四十呎のコンクリート棧橋を築造すべしと云ふ▲此勢力を以て推移するときは將來多くの建築物若くは土木事業が漸次此新材料を以て改築せらるゝの機運に向ふは必然と云ふべし▲扨翻つて我國現在セメント產額如何と云ふに概略

	現在一ケ月產高	豫想增加產高
九州	三五、〇〇〇樽	五一、〇〇〇
中國	一七、五〇〇	二三、〇〇〇
四國	三、〇〇〇	五、〇〇〇
三重愛知	一六、〇〇〇	三一、〇〇〇
東北	二一、〇〇〇	三〇、〇〇〇
東京	一七、〇〇〇	三七、〇〇〇
關西	一九、五〇〇	四〇、〇〇〇
計	一三〇、〇〇〇	二二一、〇〇〇

にして統計は無論精確とは行かねど兎に角現在の規模にて一ケ月の產高十三万樽一年百五十六万樽にして將來現在會社の擴張及び新設會社の製出力を豫算するも猶一ケ月廿二万樽、一年二百六十五万樽を出でず之を米國の一ケ年產額五千百万樽に比すれば僅に五分强に當るのみセメントの將來や亦多望なりと云ふ可きなり

模擬日本綿布韓國の輸入

（日本綿布勢力圏攪亂の企圖）

需要季節なるに因るとは云へ韓半島の本邦綿布需要は輓近に至り著るしく昂進せるを見る當業者の談に據れば本邦金巾幷に小幅木綿の賣行の活潑なる確に近年に於ける最高潮に達せるものと云ふべく京城仁川の中樞地帶は勿論、元山方面の北韓地方にも日本綿布の聲價嘖々として高まり來れり之を滿洲輸出の日米兩國金巾が銀塊暴落並に一般不景氣の餘響を受け殆ど取引休止の狀況なるに比すれば好箇の對照たるを失はず韓半島綿布界の活況斯くの如くなれば本邦の織布會社は旺溢せる韓國需要に追はれ去月には六千俵の金巾註文に對し漸く四千五百俵の輸出を遂げたるが本月も前月以上の輸出を見るべしと期待せらる從つて價格も昂騰を告げ十六ポンド物にありては百四十二圓を唱ふるに至れり全國紡績會社の織機總數約一萬臺、內朝鮮輸出綿布類の製織に專用せらるゝは四千餘臺に達す即ち大紡は三千臺の織機中其六割即ち千八百臺を朝鮮輸出向に充て絹紡は八百臺の內五百臺三重紡は二千六百臺の內千二百臺を對韓輸出の粗布金巾類製織に活用し外に天滿、內外、富士の各社が同一目的の爲運轉する織機を加ふるときは全國紡織會社は動力機械の一半を運轉しても朝鮮輸出綿布の製織に忙殺せらるゝの現狀なり然るに最近に至り韓國を以て自家の勢力圏內なりと信じて晏如たりし日本綿業者を驚愕せしめたる出來事あり即ち韓國に於て製織、包裝共毫も日本製に異らざる綿布類韓國に輸入せられ本邦綿布に向つて競爭を開始せん模樣ありしも右は價格に就き不引合に終りしにや目下引續き輸入の兆候を認めず我が當業者をして稍愁眉を開かしめたり在來とても釜山、大邱を中心とする南韓地方にはマンチエスター綿布優勢に輸入せられ嘗く韓人間に膾炙せられしも今回の新綿布は全然日本品に模擬せるのみか製織原綿の英國品に非ざるに徵するは多分米國品なるべしとて本邦綿業者の注意を喚起しつゝあり

ステッセル裁判（七）

有史以來の大審問▲露國陸軍の內幕▲日露戰爭最後の悲劇▲旅順要塞開城事件

クロパトキン將軍は金州陣地の防禦に當れる軍隊を適宜旅順に退却せしむべき必要に就てステッセル將軍に與へられたる指令の原因を陳述しつゝ尙附言して曰く、太守及び軍隊指揮官より出でし斯かる指令は金州に於ける戰鬪行爲に對しフオーク、ステッセル兩將の決意に不利の影響を及ぼしたりと。次にクロパトキン將軍は「一聯隊を以て金州陣地を防禦し得べかりしや」との檢事の質問に答へて曰く、

「衛戍司令官の說明に依りて之を見るに敵の上陸兵に對抗し、且陣地を防禦する爲に、艦隊の掩護と共に七聯隊の動員豫定せられたり。然るに愈金州戰鬪の際に至り斯る防禦の事情と價値とは著るしく減少しぬ。此時に於て日本軍の思ひ掛なき襲擊に依り我艦隊は痛く弱められ、續いてペトロパウローフスク號と共にマカロツ提督の滅亡は更に甚だしく我が艦隊の意氣を阻喪せしめたり。故に我が艦隊は敵艦隊の爲に敗らるゝことなかるべしとの希望は地を拂つて去り、艦隊は一時其の行動を中止するに至れり。此の事に就ては本證人も確實なる報道に接したり。斯くて防禦の基礎は艦隊と共に絕滅して陸軍の狀況も變動するに至れり。能く地方の狀況に通曉したる第三東部西伯利亞狙擊師團は鴨東より鴨綠江に移されしも又此の邊の地理を暗んじて敵の上陸をも容易に指定せんと豫期せられたる哥薩克兵も鴨綠江に去りたり。我が軍事通信員は傳へて、既に貔子窩に上陸したる日本軍隊の外日本本國に於ては更に他の軍隊上船したり。其の豫定上陸地點は明かならざれど多分金州以南の地ならんと言へり。若し吾人が何處迄も金州を死守したらんには旅順は危急に陷り、吾人は敵の上陸に依りて旅順の背後に斷絕せられしなるべし。此の時に於て旅順は要塞として未だ嵩に完成に至らざりき。空地は到る處に堆く、衛戍兵は餘りに弱く、吾人は突擊と共に城を棄てんことを試みたり。斯る假定は實に全く必然の事なりき。之を以て太守はフオーク將軍に適時退却すべき必要を示し、本證人も亦同じく要塞を活路なき窮地に陷らしめざらんが爲に適宜に陣地を引上ぐべき指令をステッセル將軍に傳へたり。將軍も此の指令に深く注意を拂ひたり。而して金州戰鬪の際金州以南に敵軍の上陸すべき危險なきを認めつゝステッセル將軍は金州城を頑强に防禦すべきことをフオーク將軍に固く命じたり。金州の防禦が如何程頑强なりしか、又退却が如何程時宜に適したるかは本證人之を知らず。陣地を適時に退却すべき必要に關して本證人がステッセル將軍に打電せしは實に五月四日（十七日）なりき」。

文苑

東京小景（七）　沒名學士

本門寺

在府下荏原郡池上村。號長榮山大國院。日蓮宗一致派本寺三頭之一而日蓮上人終焉之地也。

慈雲法雨古禪房。嵐氣冥濛欲沾裳。仰見前身金粟是。鐘聲只有破天荒。

過江戶川

醉衣猶記摩詩肩。兩岸花開春一川。賴得白鷗人不管。西風落葉滿空船。

海晏寺

在府下荏原郡品川町。曹洞派禪刹也。以楓有名。

紅葉夕陽寺有無。如斯秋色踏榮迂。老僧又是解詩者。門外許人賣酒廬。

佳羅丹之幾　玉井南軒

○元旦雪

世の人の心の塵を清むらむ歲新玉の今朝の白雪

去年今年中に隔は見ねね共野山は白く雪ぞ降りけり

○山に寄せて君が代を祝ひ奉る

君が代は濱の眞砂の一つより雲に聳ゆる山となるまで

たほひねも不二の高嶺も新高も高き稜威の君が御代可南

○新年朝

新らしき歲の朝はいかなれば人の心のかくもすむ覽

見るものも聞ゆるものも新らしき心地のみする歲の朝哉

伊勢の海や神代乍の女男浪に初日影そふ今朝の色かな

小說　紱のみだれ（五十二）

永井櫻國

爲吉は、山田の机の抽斗、さては本箱、手文庫と、若や知己友人の姓名の書付たものは有るまいかと、殘る隈なく搜して見たが、遂に何一つ記したものは見出さなかつた、太く失望した樣子で

「妙な人もあつたもんだ、親も無ければ兄弟も無し、偶にある親類には出入せず、加之に二ケ月以上になるのに、友達一人訪ねても來ず、何う爲たんだらう、いくら搜して見ても姓名の記したものは勿論、名刺一枚有りやアしない、呆れたもんだね。」

と、たふでの顏を見る、女房も困つたと云つたやうな顏付して

「それでは奈何なさる考へです、この大病人を此まゝにも爲て置けないぢやありませんか。」

「だけれど、今更何う爲やうと云つて致方が無いぢや無いか、若かの事があれば、區役所へ引渡すまでの事だから、まあ〳〵此まゝ海の物になるか、山の物になるか、災難だと諦めて打棄つて置くさ、此處二三日も經てば大抵分るだらうよ。」

「ですけれど、毎日お醫士を招んだり、藥を買つて服ましたりして、若かの事があつた日には全然損になるぢやありませんか。」

「なあに、醫士の入費や、藥代位は荷物や道具もある事だから、取損ふやうな事は無いけれど、しかし今日一日も診て貰つて、何の効驗も無いやうなら、明日からはお醫士も斷るがよし、藥も打棄て置くが可い。」

「では今日限りお醫士は斷つて了ますよ。」

「然うだ、病院へ入れる事にしたとでも言つて、體裁よく斷るが可い。」

鬼の如き薄情な宿の夫婦が、病人の枕頭も憚らず、死ねがしに相談するも、發熱のために人事を辨へぬ山田は、神ならぬ身の知るべくもあらず、時々堪られぬ如き苦悶の聲を洩らすのみであつた。

先刻の程から、次の間の襖際に立つて、夫婦の話に耳を傾けて居た女があつたが、あまりの話に柳眉を逆立て、呆れ顏に立去つた、かゝる事とも知らぬ夫婦は、やがて病室を出て素知らぬ顏に長火鉢の傍に座れば、下婢のお松が襷を外しながら

「お內儀さん、お藥と氷を買に行つて參りませうか、もう氷も皆になります、お藥もございませんから……。」

と、手を突いて聞く、たふでは良人の顏を眺め



「まあ、少し考があるから、藥も氷も打棄つて置きな。」

と、有繋に言惡さうに云つた。

「ですけれど、お醫士樣が氷を切らしてはならんと仰やいましたよ。」

と、下女が辭を返す。たふでは要らぬ親切立と云ひたげに

「お醫士さんが何と言つたつて、親兄弟があるぢやアなし、友達一人あるぢやアなし、誰がお醫士さんの診察料や、藥代を拂ひます、若今夜にでも死なれて御覽、澤山な費用を皆な私の家で引受け無きやならないだらう、それ處ぢやない、今月の下宿料だつてまだ貰つて居ないんだから、私の家の損害は少ないもんぢやないよ、だもの、死ぬか活るか知れもせん人に、然う〳〵世話があるもんかね。」

と云ひつゝ、煙草を輪に吹かして睨むやうに下女の顏を眺めた。

東京電報

▲御製

宮中御歌會に於ける　天皇陛下の御製は左の如し

常盤なる松こそ立てれ動きなき　國を鎭めの神の社に

▲政友會大會

政友會大會は本日開催され西園寺首相松田法相以下出席し西園寺總裁の訓示演說あり了つて決議案を可決し散會後總裁より一同を三緣亭に招待せり

▲鳩山氏の脫會

法學博士鳩山和夫氏は本日進步黨を脫會せり

▲進步黨大會決議

進步黨は本日大會を開き政府反對の條項七項を可決せり

▲夕張炭坑の爆發

北海道夕張炭坑爆發し燒死者九十八名を引出せしも黑焦となり慘悲を極む尙技手以下坑夫百名も死亡せるものゝ如し（以上十九日夜着）

各地電報

▲間島に馬賊現はる

昨十八日夜慶興對岸の間島に馬賊現はれ韓人三名殺さる

▲暴徒河陽郡を襲ふ

十八日午後二時匪徒約六十名河陽郡に襲來し日本人大浦辰三生死不明今朝巡査六名を急派せり（以上十九日發）

▲火賊捕縛

火賊五名逮捕し銃器二を押收す（十八日發）

雜報

我兵虐殺の風說

全羅道全州附近なる某村の市場に於て韓暴徒は奇計を以て同地方に向ひたる我討伐兵中の二十三人を虐殺したりとの風說あり

桂侯と現內閣

今回の政變に就き井上、松方の二氏は兎も角桂侯は當初よりの重大なる關係上西園寺侯に幾分の同情を與ふべき筈なりとは誰人も想像する所なれど今回內閣の處置が元老會議の約束に相違せりとて眞先に怒りし者は桂侯なりとも傳へ又兩者の關係何となく圓滑を缺くやにも見受けらるゝが之には多少の事情もある事にて齋て西園寺侯が財政上の困難に際し桂侯に援助を求め所謂六年計劃なるもの成立するや增稅の發議者は桂侯にして內閣は其尻に從ひしのみにて恰も增稅の責を桂侯に歸せんとするが如き口氣を新聞紙上に洩したる事あり桂侯の側にては此出所の確に現內閣に在る事を知りて甚だしく不快の感を爲し現に桂侯は其の親近者に向ひ自分は內閣より相談ありしが故に其の事情を氣の毒なりとして多少斡旋の勞を執りたると共に自家の意見を參考に供したるのみ從つて其の取捨は先方の自由なり然るに恰も予が增稅を強ひたる如く明言して其の責を他に嫁せんとするものあるに至りては如何にも言語道斷なりとて非常に立腹の意を洩したる事もあり爾來現內閣に對する同侯の感情甚だ面白からず現に今回の如きも西園寺侯より相談ありたる際桂侯は事を他に假りて區々たる彌縫は却て不可なり宜しく總ての責任を明かにすべし平生の間柄なる故に此の言を呈すとまで極言したる由なり首相以下の辭表も結局之が爲め決意せられたるものにして現內閣と桂侯との關係は今後容易に除去せらるゝ事なかるべしと說く者あり

●副統監に勳章親授　昨十日午前十一時三十分昌德宮に於て曾禰副統監へ謁見仰付られ同時に李花大勳を親授せられたり

●大院王改葬　故大院王の改葬は明二十二日坡州の新陵に改葬せらるゝことゝなり諸般の儀式を左の如く裁可ありたり

大院王園所（墓所）を來る陽曆一月二十二日御改葬のこと出神室同月三十日下神室

兩日に

太皇帝は例に依り素膳を封進する事

大院王大院王妃園所御改葬の時出神室（神室は柩なり）神室日

皇帝皇后當に望哭の禮あり百官も亦是に從ふ

上服助哀奕

皇后望哭の場所は別殿を以て充つ

皇帝望哭の場所及百官の助哀倚當日は親王親王妃も望哭せらる

大院王大院王妃園所御改葬の時出神室、發引下（發引とは出棺のこと）神室日

太皇帝當に望哭の禮有り而して望哭の場所は臨時承寧府には皇貴妃望哭の別堂は是亦各日（各日とは改葬神室出棺等のこと云ふ）廟鍊擧行

獻懿大院王純穆大院妃追封禮の後は墓所も亦陞號して以て園所と號を定む

韓國普通學校用國定教科書　韓國普通學校に用ゐる國定教科書は學部編輯局に於て編纂し各科目の中國語讀本日語讀本漢文讀本修身書圖畫臨本は第二學年用迄出版濟となり既に各學校に於て使用しつゝあるが今回以上の教科書第三四學年用並に習字手本理科書算術書（教師用）も編纂を了したるを以て三上事務官は近々右の原稿を携へ上京し日本文部省に託し印刷製本に附する筈なり而して以上の諸教科書は官公立學校には學部より無代價にて給與し尙一般にも廣く行はれん事を希望するも經費の都合上無料給與する事能はざるが故に實費を以て頒與する由なれば一般私立學校は昨年學部令第七號教科用圖書賣却規定に基き校長の名を以て一、學校規定の學科目並に其程度及び修業年限二、學徒の總數並に教科書を用ひしむる學徒の年別員數三、教科書の種類員數及び其學年別配當四、教科書を使用する學科の教授擔任教員の履歷書を記載添付せる請求書を出せば學部は之に應ずと云ふ

●學部分課規定　曩に其內容を簡單に報道し置きたる學部分科規程の全文は左の如し

第一條　大臣官房に秘書科文書科及會計科を置き學務局に第一科及第二科を置く
各科に科長を置き其事務を分掌せしむ
科長は高等官を以て之に充つ

第二條　大臣官房秘書科に於ては左の事務を掌る
一、機密に屬する事項二、官吏及學校職員の進退身分に關する事項三、教育上の褒賞に關する事項四、秘密文書取扱に關する事項五、大臣次官の官印及部印の管守に關する事項六、廳內の例規及儀式に關する事項七、廳中當直に關する事項

第三條　大臣官房文書科に於ては左の事務を掌る
一、文書の接受發送及淨寫に關する事項二、文書の編纂及保存に關する事項三、文書々式に關する事項四、法規の編纂及整理に關する事項五、統計報告に關する事項六、他の局長の主管に屬せざる事項

第四條　大臣官房會計課に於ては左の事務を掌る
一、所管の經費及諸收入の豫算並に會計に關する事項二、會計檢査に關する事項三、所管の官有財產及物品の賣買貸附出納及保管に關する事項四、現金又は金券の取扱に關する事項五、廳內管轄に關する事項六、廳內の取締及衞生に關する事項七、本廳備入に關する事項

第五條　學務局第一課に於ては左の事務を掌る
一、成均館其他第二科に屬せざる學校に關する事項二、留學生海外派遣に關する事項三、通俗教育及教育會に關する事項四、主管學校の教育費補助に關する事項

第六條　學務局第一科に於ては左の事務を掌る
一、官立師範學校高等學校外國語學校女學校及幼稚園に關する事項二、官立普通學校及新教育令に依り擴張したる公立學校普通學校に關する事項三、教員の檢定及免許に關する事項四、學校建築の學校衞生に關する事項五、主管學校の教育費補助に關する事項

●內部警務局の事務分擔　內部警務局は事務分擔規定を定め如左分擔者を任命せり

局長專屬　事務官四王天數馬、繙譯官境喜明、警部山川宗、同北村直輔、同乙政浩氣、同二宮恒藏、主事沈夏慶、同嚴柱澤、外巡査三名、雇員一名

警務課　書記官趙羲九、警部橋本秀平、同吳錫裕、同市川信濟、同愛甲卯八郎、主事崔鎭洛

保安課　書記官鈴木要太郎、警部國友尙謙、同神崎隆一、同安田勝實、主事元大奎、同李慶承、外に巡査二名、雇員一名

民籍課　書記官趙羲九、主事井上新、同朴匡來、同尹明燮

●內部警務局の分課事務　別項警務局の分課事務は左の如し

局長專屬　一巡視に關する件一會計に關する件一判任官の進退に關する件一文書の收受發送に關する件一官守に關する件一他課の主管に屬せざる件

警務課　一警察の區劃配置に關する件一服務規律及び巡査教育に關する件一巡査雇員の進退に關する件一警察賞與及び巡査給與に關する件一吊慰扶助療治及び退院等に關する件

保安課　一普通高等警察に關する件一暴徒に關する件一僞造貨幣に關する件一行政及び司法警察に關する件一外國人に關する件一移民に關する件

民籍課　戶口民籍に關する件

豫備金支出裁可　內閣會議の決議を經て上奏裁可を得支出したる豫備金は左の如し

第一豫備金より支出したる者

金九百八十圓	內部本廳々費
金百六十圓六十二錢五厘	成均館修理費
金千三百四十三圓五錢八厘	度支部俸給金
金二百三十二圓二十五錢八厘	同雜給及雜費
金百二十圓	同旅費
金千五百七十七圓	法官養成所廳費
金二千五百七十六圓	農商工部俸給
金千四圓	同雜給及雜費
金百八十五圓	礦山事務所外國人諸給
金百三十圓	園藝模範場外國人諸給
金二百六十三圓	農林學校外國人諸給
金五百七十五圓	農事試驗場同
金三百三十圓	礦山地質調査所同
金百十二圓	國內牛疫消防費同

第二豫備金より支出

金千八百二十圓	驛屯賭稅徵收費俸給
金三百十圓	同廳費
金六千六百十圓五十錢	同旅費
金八千八百三十圓	同手當金
金百七十九圓	同保管費
金六百五十圓	同舍宅料
金二萬四千二百八十圓	文獻備考刊印費

●副統監の晩餐會　曾禰副統監には來る二十八日官邸に於て日韓高等官數十名を招待し午後五時三十分より晩餐會を開催さるゝ由

吉長線路測量着手

日淸兩國の吉長線路測量委員は去る九日以來奉天滿鐵公所內に會合し種々打合を爲し居りしが已に略ぼ其要領を議し終りしを以て去十三日豫て滿鐵會社にて準備せる特別列車に搭じ一同長春に向て出發したりと云ふ今其の將來に於ける行動の豫定を聞くに長春には約三日計り滯在し凡ての準備を整へたる後途中の護衞として淸國兵十名日本兵十名を從へ實地踏査に從事する筈なれば一行は約五十餘名の大勢となるべし踏査の順序は最初現今の新道路たる放牛溝、石匠高棚、范家屯、波泥河子、三道嶺子、五粒河子、小門子を經て吉林に至る線路約六十四哩を踏査したる後再び吉林を基點とし曾て露國の測量せりと稱する現今の新道路より北方に迂回せる道路即ち三道岺子、五家子屯、土門岺、荒山屯、吳家店口、興隆を經て長春に至る約百哩の線路を踏査したる上兩線路の利害を比較し然る後再び精密の測量をなすべき豫定なる由而して最初踏査すべき六十哩の線路の內放牛溝と范家屯の間には山嶺あり又小門子と吉林の間に廟嶺の山坂あるも其の餘は大體に於て平坦と稱すべく河流は伊通河と領馬河の二流其の最も大なる者にて其他は多少の溪流有るに過ぎず村落の內放牛溝、波泥河子、及び五粒河子に近き大水河子は物貨の集散場として沿道中の大村落たり就中大水河子は伊通州に通ずる大道の交叉點に當るを以て商賈輻輳し最も繁昌を極む又產物は各地到る所農產物に富む外石灰高棚には有名の花崗石を出し露國時代には曾て之を採掘せしことあり又波泥河子附近には石灰及石炭を出すと云ふ吉林に於ける停車場は目下の處固より未定に屬するも吉林東門外蓮花泡附近に定むることゝなるべく該地は松花江に臨み上流は木材の停留場たり下流は直に松花江を往復せる小蒸汽の碇泊場にして運輸交通に最も便宜なる地點なりと云ふ

仁川運送組の設立

豫報の如く仁川に於ける十八軒の運送店は一致して統監府鐵道管理局の承認貨物取扱人となり以て輸送補助機關の實を擧げ一般貨主の便利を計るの目的を以て仁川輸送組なるものを組織し組長立石幹事副組長川添三次會計役平田泰介同根岸利三郎業務役淸水五兵衞同山下龜藏を選擧せるが同組合に加入せる運送店は

中村、根岸、協同組、平田、川井田、江口組、山下商會、淵元、稻數、篠塚、右坂、土屋、廣田組、小宮山、中條、三光大韓運輸會社、大同運輸會社

にして各組合員は信認金として金五百圓宛を組合に提出し各自日々の營業費は自己に於て負擔する筈なりと

●門釜連絡實行　帝國鐵道廳に於ては從來關釜連絡の名を以て運行しつゝある滊船を今回門釜連絡の實を擧ることゝし昨年末より九州鐵道管理局門司驛の設備中なりしが既に竣成を告げたるのみならず揚陸搭乘の旅客送迎滊艇としては關門滊船の第一種艇及び石田滊船の第一種艇を借上の交涉も纏り今は唯だ單に鐵道廳の作業命令を俟ち居る次第なれば遲くとも本月中か或は二月一日頃よりは實施を見るに至るべしと

●衆議院の九名士　今年は總選擧の年なり其時期は何日なるべきか未だ判明せざれど多分四月の下旬か五月の朔日頃なるべしとの事なるが衆議院は今日までに既に九回の總選擧を經たれば今年のは其第十回目に當るなりさて其間九回の總選擧を通じて一回も洩なく當選したるは左の九代議士也と

菊池九郎（青森）　河野廣中（福島）
島田三郎（神奈川）　犬養毅（岡山）
尾崎行雄（三重）　箕浦勝人（大分）
橋本久太郎（德島）
佐々木正藏（福岡）
長谷場純孝（鹿兒島）

內部大臣の家劵第一銀行に在り

前に農相宋秉畯は或一種の債務を總理大臣李完用に果さんが爲めに金作の必要ありしが何分韓人の身の信用借りは到底不可能なるを以て事に托して宋は內相任善準より氏の住宅の家劵を借受けソレを見返りに入れて第一銀行より金七千圓を借出し右を以て李完用に對する債務を果したるが斯る事情を知らざりし任內相は宋農相より未だ家劵の返却なきを以て大に不快に感じ目下在東京の宋に向て嚴重なる照會をなし居れりと云ふ邦人次官を眼下に見るところの韓大臣とはこんな連中なり

連山方面の賊

連山分遣所より暴徒討伐に就き去る十六日附を以て報告ありしが十五日午後八時三十分連山南方仁川市に暴徒約六七十名宿營せんとする旨の急報に接せしかば直ちに下士以下七名及び補助員巡檢各々一名之が討伐に向ひたるに翌日午前一時半頃果して五六十名の暴徒宿營し居る事を確めたるを以て下士一名上等兵三名を珍山街道に派し挾擊を加へせしめしに賊は突然東北方七百米突の地點に於て我に射擊を試みしが我が直ちに之に應戰せしに賊は又々同市の西北なる山上より頻りに我に發砲し我を挾擊せんとせしが我は暫時應戰の後南方三里の村端なる山上の賊に向つて突擊を加へしに賊は大に狼狽し珍山方面に逃走せり時に月明なりしより追擊するを止め一行は更らに同市の賊を追擊せんと警戒しつゝ同市に入るや賊は家屋に潛み我に向つて發砲せしかば爰に市街戰爭は開始せれしが約一時間交戰の後終に賊は高山部方面に向つて潰走せり依つて仁川市の家宅搜索を行ひしに何も得る所なし此戰鬪に於て賊を殪す二、傷者二、捕虜二、又鹵獲品は火繩銃三、彈藥若干雜品數點等なりしが賊の數は約七十名なり

●寧邊地方の暴徒　寧邊警察署長の報告によれば咸鏡道三水郡中坪場に暴徒二百名集合し民家に押入り糧食を強奪する爲め民情擾然たる噂あり同地より當道厚昌に通ずる道路は小路にして目下積雪のため交通杜絕し居るも迂回して鴨綠江を渡涉せば人馬の交通自由たるを以て何時彼等の來襲あるやも計り難しとて同地方民は非常に恐怖し居るを以て同地駐在所は嚴重に警戒中なり

●賊の銃器を押收す　瑞興警察分署偵察隊の一行は本月五日新溪守備隊の追擊を受けたる暴徒十數名が逃走の際遂安郡泉谷場洞長金又煥に火繩銃十二挺を預け置きし事を偵察し直ちに之を押收せり

●賊魁を斬殺す　公州警察署巡査西光雄氏は強盜犯人金城六なる者近時暴徒の首魁となり部下を募集し居るを探知し之を逮捕せんとしたるに頑強に抵抗せしを以て已を得ず之を斬殺せり

●學部分課長の任命　別項分科協定の實施と共に各科長左の如く任命せらる

大臣官房
秘書科長　金思重
文書科長　本田常吉
會計科長　金漢奎

學務局
局長　尹敬幸
第一科長　閔健植
第二科長當分署理　同人

編輯局
局長　魚允九

因みに學務局第二科長は日本人々選中に付當分第一科長之を署理す尙編輯局には分科なし

●內部の各分課長及び課員　內部分課規定の實施と共に各分課長及び課員は過般左の如く任命せられたり

大臣官房
秘書課長　金裕曹
課員　吳在豐
文書課長　趙齊桓
會計課長　四王天數馬

地方局
局長　熊仲橫
府部課長　鶴岡永太郎
地理課長　羅壽淵
社寺課長　宋之憲
事務官　渡邊金太郎

警務局
局長　松井茂
警務課長兼保安課長　岩井敬太郎
民籍課長　趙羲九

土木局衞生局は課長未定にして其の局員の重なる者左の如し

土木局
事務官　權輔相
同　長濱榮三
同　佐治修三
技師　吉武正八
外に技師九名

衞生局
局長　劉猛
技師　佐々木四方志
同　與賀茶助

●仁川商議所總會　仁川商業會議所に於ては去る十八日定期總會を開き昨年度收支決算、同所處分細則其他二三の件を附議する筈なりしも當日出席者定數に充たず流會せしが更に來る二十二日午後三時より再會することゝなれる由

●韓國大審院長　韓國大審院長には東京控訴院檢事長河村善益氏任命せらるべしと

三浦理事官の永住

京城理事官三浦彌五郎氏が馬山浦を以て墳墓の地と爲さんとせらるとは記者が豫て聞及びたるところなるが氏は昨冬を以て同地に住宅の建築に着手せられ今回落成したるを以て過日內地より歸韓の折令妹と共に新宅を見舞はれたり而して來る三月頃には氏の母堂を始め全家族を擧て永住の爲馬山浦に來らるゝ由なり殖民とか移民とかを口にする族は多しと雖ども身分ある人にして實行することは中々困難の如くに思はるゝ今日に於て三浦理事官が卒先此擧に出でられたるは記者の大に敬慕するところなり、因に韓國經營に生涯を捧んとせらるゝところの大小の官吏諸氏は現在の腰掛主義を止め三浦君の如く永住主義を採れたきもの也

對星樓茶話

▲或者曰く盲目千人を加算すれば聰明一人となるべしと、斯る論理が通る世の中なれば聰明千人を加算すれば盲目一人ともならざるべし。

▲京城市街の中心點は時として鐘樓にあり、時として慶運宮にあり、又泥峴にもあり、南大門にもあり。

▲韓半島の地勢を論じて曰く慶尙全羅は其手足にして平安道は顏面なり、京畿は胸に して忠淸は其腹たり、咸鏡道は古より頭首にして江原は背部たり。

▲朝鮮人は共產主義を信奉せり。

▲箕子の文明は奴隷を作り、朱蒙氏の政治は馬賊を作り、首露王以來の新羅氏は兩班を作り、王建氏は僧侶を養ひ、李王朝の文學は私黨を作り、大院君は事大外交の發揮者たり、獨立論は井上伯の對韓政略にして日韓聯邦論は伊藤公の政綱なり。

▲高麗燒を贓品とせば貴顯より買上られし高麗燒は沒收せざる可らず、兎角理屈の通らぬ法律は放屁の如きのみ。

▲外交通の策に曰く韓半島を保護するには豆滿江より鴨綠江流域一帶を分割して帝國の領有と爲すべしと。

●仁川民團へ寫眞御下賜　曩きに仁川居留民團より花房宮內次官の手を經て皇太子殿下に獻上せし仁川居留民團寫眞一葉同居留民御便殿寫眞一葉並に仁川居留民奉迎の模樣及仁川港全景寫眞等都合六葉は殊の外御嘉納あらせられたる旨村木東宮太夫より花房次官へ通告し花房次官より與田民長へ通告し來れり

●木內次官國分秘書官の歸任　去る十八日東京を出發したる木內次官及國分秘書官は二十一日午後九時急行列車にて南大門着歸任さるべし

●市原總支配人歸朝　第一銀行韓國支店總支配人市原盛宏氏は來る二十五六日頃出發一時歸朝の筈なり

●本田博士以下の兼任　勸業模範場技監本田農學博士は農林學校長に同技師豐永眞里氏は同校教授に兼任し農林學校教授宮原忠正農商工部技師宮本政藏兩氏は勸業模範場技師兼任を命ぜられたり

●任免　十八日附を以て左の如く任免あり

統監府觀測所技手　小川德太郎
任統監府觀測所釜山支所長心得を命す
統監府觀測所技手（八級）　澤野太郎
依願免本官　統監府觀測所技手　金田矢作

●鶴岡永太郎任命　元關東都督府警視鶴岡永太郎氏は今回內部警視兼書記官に任せられ一昨十九日來京昨日より出勤し書記官の事務を掌ると云ふ

●辭令　左の如く任命ありたり

任統監府技師（七等）　統監府技手　小野是一郎
同　同　吉武正八
任統監府技手　統監府附屬　永濱勇三

●仁川民團の寫眞献上　先きに仁川居留民團より花房宮内次官の手を經て皇太子殿下に献上せし仁川[illegible]御便殿寫眞一葉並に仁川居留民奉迎の模樣及仁川港に碇泊軍艦より皇禮砲を放てる寫眞都合六葉は殊の外御嘉納あらせられたる旨村木東宮太夫より花房次官へ通告し花房次官より[illegible]へ通告し來れり

●木内次官國分秘書官の歸任　去る十八日東京を出發したる本内次官及國分秘書官は二十一日午後九時急行列車にて南大門着歸任さるべし

●市原總支配人歸朝　第一銀行韓國支店總支配人市原盛宏氏は來る二十五六日頃出發一時歸朝の筈なり

●本田博士以下の兼任　勸業模範場技監本田農學博士は農林學校長に同技師豊永貞里氏は同校教授に兼任し農林學校教授宮原忠正及商工部技師宮本政藏兩氏は勸業模範場技師兼任を命ぜられたり

●任免　十八日附を以て左の如く任免ありたり

統監府觀測所技手　小川德太郎
任統監府觀測所釜山支所長心得を命す
統監府觀測所技手(八級)　海野太郎
依願免本官　統監府觀測所技手　金田矢作

●鶴岡永太郎任命　元關東都督府警視鶴岡永太郎氏は今回内部警視兼書記官に任ぜられ一昨十九日來京昨日より出勤專ら書記官の事務を掌ると云ふ

●辭令　左の如く任命ありたり

任統監府技師(七等)　統監府技手　小野是一郎
同　同　吉武正八
任副理事官(九等)　統監府屬　永濱[illegible]二

大阪五十八銀行の内訌
(時事新報所載)



大阪市の五十八銀行は楊井銀行との合併に依り資本金を三百萬圓に增加し楊井佐兵衛氏を始め一族楊井[illegible]太郎[illegible]氏を取締役に推選し其他楊井銀行々員は引續き五十八銀行に從事し楊井氏は韓國支店監督として京城に出張執務し居れるも執務の方針に就き頭取高橋[illegible]と意見衝突し高橋頭取自ら韓國に出張し楊井氏の行爲に就き窃に調査する所ありし結果或る權限問題に關し多少面白からざる點ありしも其行爲に就ては何等の失態なき事判明せしが楊井氏は頭取の行爲に就き不滿を抱き早々歸阪の上直に辭表を提出して引籠り居り一方大阪本店にては楊井松太郎氏業務を執り居れるも高橋頭取との間柄兎角圓滑を缺くのみならず多少或る缺點もありて終に客年十二月末限り業務を支配人長谷川某に讓りて隱退したるが爾來役員間に内訌を生じ本月の株主總會に於て一波瀾を生ぜん模樣なりしも重役中仲裁の勞を執る者ありて昨今の處楊井一派を勇退せしめ同行の權力を全然安田善次郎氏派に歸するに至るべしと云ふ

●統監府新年娛樂會　既報の如く十八日午後六時統監府食堂に於て新年娛樂會開催せられたるが當夜は石塚長官代理以下各高等官[illegible]及其家族等無慮三百五十余名の出席あり田中氏開會の辭を述べたる後樂隊の奏樂薩摩琵琶劍舞落語等あり夫れより一同に茶菓及福引券を配布し番號順に福引景品を渡し和氣藹々の裡に散會したるは午後十時半なりしが當夜の如く食堂にて軍樂隊の奏樂ある會合は時々開催することゝなりたる由

●仁川魚市場の擴張　仁川の兩魚市場は昨年中合併して水產會社となりたる爲現今の魚市場にては狹隘を感ずるを以て同市場前海上に巾二十五尺長三十間の板場を設置すべく其筋に請願中なりしが過日許可せられたれば近々中に其工事に着手するの事也

●歐米金融の緩和　英蘭銀行は去二日に公定割引步合を七分より六分に引下げ次で七日佛蘭西銀行は四分より三分二分の一に引下げ獨逸帝國銀行も亦十三日に七分半より六分半に引下げ英蘭銀行の如き昨日の重役會定日に於いて更に一分方引下ぐべしとの報あり是れ米國の恐慌が鎭靜に歸して正貨に對する需要著しく減退したるに由るものにして紐育市場にては本年に入り金紙の打步全く消滅し組合銀行の預金準備額は去十三日に法定額を超過すること六百萬弗に上れりといへば歐米金融界は今や順境に向ひ十月以前の情態に復せんとしつゝあるを窺ふに足るが如し

●馬山丸の積載貨物　本日入港すべき馬山丸に軍需品若干個積載しある旨字品より其筋に通知ありたり

大賊津田政捕縛の詳報

昨年九月十一日仁川監獄を破り逃走し京城に來り各所に於て窃盜を働き變幻出沒京仁の探偵を惱まし居留内外國人をして安き心なからしめたる大賊愛知縣愛知郡織豐村大字稻葉治十六番地平民竹治弟津田政治郎(二十五)は遂に去る十四日馬山浦に於て同地警察署の手に依りて天の網に罹りたることは既報の如し今茲に津田政が就縛當時の模樣を記せんに津田政は仁川逃走以來當地に來り各所に侵入し窃盜を働き居りしも我警察の探偵嚴にして身を安んずるを得ざることゝなりしかば情婦とせる或る飲食店の酌婦たらくを連れ出し京釜線に依りて南方に逃がれ馬山に入り込み昨年十二月二十日の夜同地大原旅館に林英津二郎(二十八)と稱して投宿せしが其後行衞を晦ましたり然るに本月二日の夜より同地郵便局員小川眞勇美、今津嘉吉、宮崎佐藏、吉田善吉、大原俊平、赤塚德次郎宅等に於て盜難頻々として續出せしにぞ同地警察署に於ても非常に注意し其犯人を搜索せしも更に手掛を得ざりしが馬山署の臨時刑事吉田巡査が巡回の際擧動怪しき一人の男を捕へ警察署へ連行せんとする際彼は途中に於て逃走したるを以て同巡査は村田、兒玉の兩刑事と共に其行衞搜索に從事し一方警察署に於ては其夜非常召集を行ひて警戒せしも翌曉まで何等得る所なくして明けたり村田、兒玉、吉田の三刑事は彼が日本專管居留地なる韓人金永和なる者方に潛伏せるを偵知し十四日午前其寢込に踏み込み難なく之を捕縛したり此時彼は前夜各家を窺ひしも好き獲物なく空しく歸り來り前記金永和方に於て情婦のたらくと共に對寢しつゝありし所を捕へられ大賊津田政なると判明せしかば三刑事も今更ながら驚嘆せしとは左もあるべし

●强盜逮捕　十七日夜銅峴分署管內後洞八十五統十戶酒屋車聽煥方へ强盜三名闖入し金品を掠奪したるを以て搜索中の處住所不定の金東鎬、金貞福の兩名の所爲と判明し被害品の一部を携帶せるを以て直ちに[illegible]に護送せり

珍妙なる村落
(不義は勝手たる可き事)

重きが上の褄重ね間男見付けた亭主が踏込めば「其れを持つて出」と定りの飲料二三圓を女房が間男より取つて投げやると亭主は合點して歸る若し左れでも聽入れずば「そんな騷ぎなさんな村の交際が大事ですよ」と姦通した女房が亭主をやり込めるといふ珍妙な習慣ある村落あり伊勢桑名より三里隔つた七取村香取とて姦通免許の奇習ある事昔よりの慣ひと見へ明治初年に一夫に知られし褄重ね賭博で家を亡くする香取村」といふ木遣節が流行したといふかゝる土地なれば知ぬ間は恐かな事一つ物を食ふ程懇意になつた友達同士の中でも女房を盜合ひして汝もやりおつたかと位で笑い濟す夫れが七面倒になると二三圓も飲代を出せば大抵の事は納まつて姦通せし爲め女房が離縁せられるの告訴せられるといふやうな事は絶ねてなく若しあれば話せない野暮天だと亭主の方が村から交際を遠去けられて一生日陰の身とは道德は其の時代と其境に依つて變るといふ事例を示して居るが茲に同村某寺の養子となりし某學士は此奇習によりて妻が姦せしを如何に村の習慣とても教育ある人間なれば見のがさず此機會により姦通村を洗ひ淸めんと目下村民を相手取り紛紜を起し居れりと日本廣しといへど姦通免許の村落は此外に二とはなかるべし

●高麗燒窃盜　北海道後志國忍路郡鹽谷村番外地平民當時開城西小門外居留石工佐野秀三郎(三十)佐賀縣唐津郡能古見村百三十八番地平民當時開城南大門內居留石工芦塚與吉(三十)の兩名は共謀して一月十日開城北部八字洞(城內より三里)字大院洞李宗植所有地なる古墳を發掘して高麗燒數點を窃取し携帶歸宅の途中十二日午前六時頃開城八道里に於て巡査に逮捕され取調の結果窃盜犯として京城理事廳に送致したり

●支那人韓人を擲る　去る十九日午後九時頃韓人諸巖宮內の崔重錫(三十)西大門外の柳仁桂(三十)及び崔在榮崔昌淳の五名が小公洞の支那人パンヤの前に蹈まつて例の如く烟草を燻らしちやんほん／＼話し居る所へパンヤの主人が棍棒を携ね出で來り己等が此所に居るから客がないさ言ひさま崔重錫を打擲し其の內に二三十名の支那人集まり五名の韓人を滅多打に毆りさいなみ剩さへ金、崔の兩名は清國警察署へ連れ行かれたるにつき保護し呉れよと南部警察署へ急訴せしより警吏は直ちに清國警察署に到り見れば崔重錫は四週間を要すべき重傷を受け居れるも手當も爲さず留め置き加害者は取調べもなさゞる有樣なるより嚴重に交渉をなし韓人は連れ歸りて富久尾病院に於て治療を受けしめたりと

●途中の摑み合ひ　去る十八日夜壽町三丁目の六金前に於て摑み合を爲すものあり能く／＼糺して見ると警保局の雇にして日の出町に居住する熊本縣士族中山道雄(三十)が通行の際本町五丁目の大阪府士族野田安吉(三十)が向ふより來かゝり双方とも酩酊し居りしこととて些細のことが種となつて摑み合ひを爲し遂に雙方微傷を負ひたるが其の後如何せしやら

●賭博から喧嘩　當地明治町の西村樂四郎方に於て一昨日午前一時頃伊藤組の人力車挽子岡山縣平民岡本余惣太(三十)鹿兒島縣平民時吉才藏(二十八)外二名車座になつて丁半を鬪はす内に[illegible]が一問題となりて才藏が余惣太をぶん毆り微傷を負はせ遂に警察署へ持ち出せしが後ち兩者間を調停するものあつて無事に落着したりと

●强姦　本町八丁目飲食店丸山亭に手傳をなし居れる某といへる女が十九日午前四時頃刑事と稱する者に强姦せられたりとの告訴をなし其の嫌疑者として同夜花月に於て開催せし鳥取縣人會に出席せし仕村安貞といへる私醫者拘引せられたり詳細は次號に

●歌舞伎座の北村劇　昨年冬本町座に於て好評を博し夫より仁川に乘り込み同地の觀劇者を念らせたる北村生駒の一座は同地を打揚げ再び當地に乘り込み本日より旭町一丁目歌舞伎座に於て開演することゝなれり本日の藝題は「吉丁字」にして其役割は左の如し

春川八郎(井上)車夫吉松(新田)長澤の妻れ岸(西本)丁稚長松(大島)召使れ竹(桂)政道の妻辰子(横山)壽子(吉岡)壯士畠山(谷)壯士海野(中澤)增田政道(保岡)召使れ花(小泉)政岡延翁(青木)壯士關(北山)早瀬新作(三木)君子(玉國)藝妓綿吉(神門)壯士內山(淸水)巡査(森)番頭重藏(須美村)將軍鮫島(佐藤)壯士茅屋滿廣(北村)